

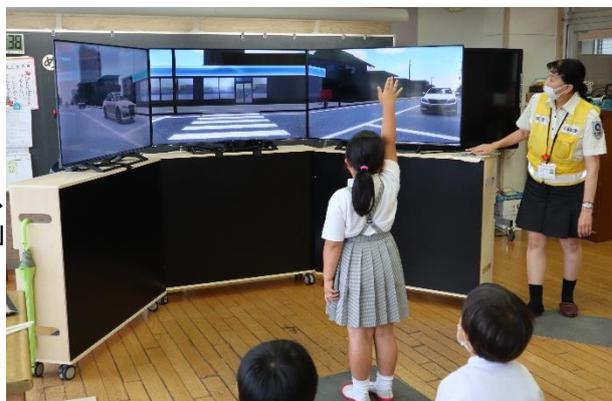


## 交通安全教室

6月14日(火)、上天草警察署やひまわり隊の方々、そして、ユッピーくんに来ていただき1、2年生を対象に「交通安全危険予測シミュレータ」を活用した交通安全教室を行いました。

「交通安全危険予測シミュレータ」には右の写真のように、道路や車が映り、子どもたちが手を挙げて歩く動作をすると、画面が動き、実際に横断歩を渡っていることを体感することができます。道路を渡っていると車は止まっても、自転車が飛び出してくることもあり、渡るときも左右を見ることの大切さを確認することができていました。

令和3年(2021年)には、歩行者の事故が4562件発生し、63人の人が亡くなっています。歩行者事故は、道路(横断歩道を含む)を横断しているときの事故(2326件)が多く、約半数を占めています。歩行者側の違反としては、信号無視、横断歩道でないところを渡る、飛び出しが多いそうです。子どもたちが道路を渡ろうとするとき、ドライバーがみなさんに気付いているとは限りません。道路を横断するときは、手を挙げて「今から渡ります」ということを伝え、車がきちんと止まってから渡ることが大切です。自分の大切な命を守るためにも「**①道路の右側を歩く** **②道路を渡るとき、手を挙げて、右・左・右を確認して渡る** **③停まってくださった車の方に、ちゃんとお礼を言う**」この3つを守ってほしいと思います。



### 「人権の花」育っています

5月25日に蒔いた朝顔の種が芽を出し、元気に育っています。

プールの入口付近が朝顔の花でいっぱいになるのが楽しみです。



【6月20日の様子です】

## 水泳の授業スタート

子どもたちが楽しみにしていた水泳の学習がスタートしました。長く泳ぐ、速く泳ぐなどの技能面とあわせて、以下の3つの心も成長させてほしいと思い、各学年のプール開きでも話をしました。

- ①きつくてもがんばる心
- ②命を大切にする心
- ③思いやりの心 



7月22日には無観客ですが水泳記録会も6年生のみの参加(4・5年生は記録のみ提出)で実施予定です。

## スリッパ・長机購入

4月のPTA総会で承認していただきました「スリッパ・長机」を購入しました。

長机2脚は校長室に設置し、PTA運営委員会の会議や保護者の方・来客の対応時に活用させていただいています。

スリッパは、すでに10足は来客用に活用させていただいています。保護者の皆様方には、7月2日(土)の授業参観の時からご使用していただく予定です。大切にに使わせていただきます。



【新しいスリッパ】

裏面もご覧ください

## 土砂災害避難訓練・引き渡し訓練 ～自分の命を守るために～

今から50年前の1972年(昭和47年)7月6日に「天草大水害」が発生しました。突然の大雨が上天草を襲い、1時間の雨の量が130mm、1日の雨の量が447mm(但し、当時は観測設備が今日と比べ、劣っていたため、正確な観測はできず、あくまで予測値であると考え。)とも言われています。その雨は、上天草の松島、姫戸、倉岳、栖本、そして、龍ヶ岳町の5つの町に集中して、壊れた家が1000戸を超え、多くの尊い命がうばわれました。

2年前の人吉地方での球磨川の氾濫、昨年7月3日には静岡県熱海市での大規模な土石流など、毎年日本のどこかで、大雨や台風による大きな災害が発生しています。

そこで梅雨に入る前の6月8日(水)に、土砂災害避難訓練・引き渡し訓練を行いました。その中で今年度も、川本学校用務員から「天草大水害について～今、思うこと～」体験談を話してもらい、命の大切さ、日頃の生活があたりまえではないこと、災害の恐ろしさ等について考えました。



【川本用務員の講話】

こんにちは。川本啓子です。私は今、縁があって龍ヶ岳小学校の皆さんや先生方にこうして出会うことができました。この出会いに感謝して毎日仕事をしています。

私は、花や野菜などを育てることが好きです。小さな種をまき、大切に育てていくと、きれいな花を咲かせたり、大きな実をつけたりします。その種をとり、次の年にまくと、また花が咲き、実をつけます。大切に育てながら、命のつながり、命の尊さを感じることができるからです。

実は私は50年前におきた天草大水害で家族を亡くすという悲しい体験をしています。これからその時の思いと、その経験を通して今思うことを話したいと思います。聞いてください。

昭和47年7月6日の水害がおきた日、私は高校生で岐阜県にいました。幼稚園の先生と調理師の免許をとるために、働きながら学校へ通っていました。雨がひどかった次の日の7月7日の朝、会社の人から「天草で雨がひどく降って、井上(旧姓)さんの家が流されて家族全員行方不明だから、早く天草に帰ってみてください」と言われ、すぐに飛行機で帰りました。熊本空港まで行くと空から泥色の海がみえました。このとき鳥肌が立ったのを覚えています。生まれ育った姫戸町に着き、家族を探そうと思いましたが、道路は山からの泥や木や石で思うように歩けません。亡くなった人のそばも通りました。「どうか、この中に家族がいませんように」と祈り、泣き出しそうになりながら歩いていると、見知らぬおじさんから「みんな集会場に避難しとらすから行ってみなさい」と言われました。走って行くと何十人という人たちが、体中泥だらけで、髪の毛は泥水で固くなり、両目は真っ赤にはれ上がって充血し、焦点が合わずぼーっとした顔をしていました。その中に私は母親の姿を見つけ「お母さん!」と呼びましたが、返事がありません。もう一度「お母さん!」と呼ぶと「あんたはだれかな～」と言われ、やっと探し出した母親の姿を見てショックをうけました。母とおばあちゃん、おじいちゃんは流されたそうです。私の大好きだったおばあちゃんはそのとき、大きな石が頭に当たり、即死だったそうです。大雨は昼間だったので小学校1年生と3年生の妹達は姫戸小学校に行っていて無事でした。しかし、だれも迎えに来る人がいなくて、体育館で夕食も食わず寝たそうです。

2年前、人吉で大雨が降って、川が氾濫してたくさんの家が被害にありましたね。その時の雨よりも天草はたくさんの雨が降ったそうです。

今、みんなには家があります。家族がいます。毎日、家で「いただきます」と言ってご飯を食べて、「おやすみなさい」と言って布団で眠れることを当たり前と思わず、幸せに暮らせることに感謝して、困っている人を見かけたら龍ヶ岳小学校で身につけているボランティア精神で助けられる人になってください。そして、学校から帰ったらゲームの時間を少し短くして、お父さん、お母さん、家族の人といっぱい話をしてください。

最後に、水害、地震、津波などの自然災害はいつでも、どこでも起きます。このようなことが起こったら、先生方、家族の人の言われることをよく聞いて、命を守る行動をしてください。

子どもたちは、みんな真剣に話を聞きました。校舎の横や裏には山があり、熊本県土砂災害危険箇所マップでは「特別警戒区域」や「警戒区域」にも指定されていて、がけ崩れが起きると、校舎の半分くらいは土砂に埋もれてしまう可能性があります。自分の命、友だちの命を守るためにも、①大雨や台風するとき、通学路や家の近くでは、どこが危ないか?②家の近くで、がけ崩れしそうなところはないか?を、お子様と一緒にご確認ください。

学校のホームページもご覧ください。